



2026年8月7日

各 位

会 社 名 D Nホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 藤本 弘之
(コード：7377 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執行役員経営企画本部長 浦田 昌浩
(TEL 03-6675-7002)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンスの強化の一環として、取締役会の実効性について分析・評価及びその改善に向けた施策の推進に取り組んでいます。この度、2026年6月期を評価対象期間として取締役会の実効性評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

下記内容の「取締役会評価に関する質問票」を全ての取締役に配布し、全員から回答を得ました。得られた回答をもとに当社取締役会において、自己評価結果の分析及び今後の課題について議論いたしました。

実施時期：2026年6月～8月

対 象 者：2026年6月末在籍取締役5名

質問内容：第1 取締役会の構成に関する質問	4 項目
第2 取締役会の運営に関する質問	7 項目
第3 取締役会の議題に関する質問	13 項目
第4 取締役会を支える体制に関する質問	4 項目
第5 諮問委員会に関する質問	2 項目
第6 その他に関する質問	5 項目

回答方法：各項目3段階又は4段階評価及びコメント（理由・改善すべき点）を記載

2. 分析・評価結果の概要

上記35項目に対する回答結果として、肯定的な回答が92%、否定的な回答が8%であり、当社取締役会は概ね適切に機能しており、取締役会の実効性は確保されていると評価いたしました。今後、取締役会の実効性をより高めるために、次の5項目を課題として認識いたしました。

- ✓ グループガバナンスの高度化に向けた、取締役会の全体としての適正な知識・経験・能力の多様性および規模に関する継続的な検討
- ✓ 経営人材の育成および継続的研鑽を含む、経営陣・取締役に対する実効的な監督の強化
- ✓ コンプライアンス違反事象を踏まえた、内部統制と全社的なリスク管理体制の継続的な整備強化
- ✓ 新たな事業ポートフォリオ構築に向けたグループ体制および企業戦略に関する議論
- ✓ 重要議題の審議の活性化を実現するための、環境整備としての取締役会の運営改善

なお、昨年度に認識しました課題のうち、株主との建設的な対話機会の充実及び株主からの意見・要望を踏まえた議論については、前期における活動により改善が図られたものと判断しております。

3. 今後の対応

当社は、2026年3月24日付「当社および当社連結子会社の代表取締役の異動（辞任）に関するお知らせ」にて開示しました、前代表取締役がコンプライアンス違反の疑義に関する社内調査対象従業員に情報漏洩を行った事案を厳粛に受け止め、再発防止策を着実に実行し、信頼回復に努めているところです。

当社取締役会は、分析・評価結果を踏まえて上記の取り組むべき課題に適切に対応していくことによって、取締役会がより高い実効性を確保できるように努めるとともに、グループガバナンスの高度化と中長期的な企業価値の向上に努めて参ります。

以上